

これからの 学芸員のキャリアを考える

日付 2024年3月9日（土）午後1時～午後4時30分（予定）

場所 阪南大学あべのハルカスキャンパス／オンライン（ZOOM）併用
（大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43 あべのハルカス23階）

定員 50名（先着順、会員以外も参加可）

今、我々の生きている日本社会は少子高齢化に突入しており、そのことが深刻な人手不足を招いている。また社会経済状況も不安定な状況が続ぎ、この点もミュージアムの経営に大きな不安をもたらしている。

そのような状況の中で博物館は生涯学習・社会教育の観点からだけでなく、文化政策や観光の面からも地域への貢献を求められ、その専門職である学芸員は日々その業務に追われている。

しかし、そのような多様な仕事をしなければならない学芸員はどのように養成され、博物館を支えていくのだろうか？全国の大学で学芸員の養成が行われているが、それはこれからも維持していくのだろうか？あるいはできるのだろうか？また学芸員は自分のキャリア形成を考えながら、仕事をしていける職業なのだろうか？

社会における価値観が変化している中、学芸員という仕事について、今、改めて考えなければならないのではないだろうか？

そこで近畿支部とコレクション・マネージメント部会では共同でこれからの学芸員のキャリアを考える研究会を開催することとした。

パネラー：浜田弘明氏（桜美林大学）

渡邊麻里氏（大阪市立大学大学院）

コーディネーター：井上 敏（桃山学院大学、JMMA理事/近畿支部長・CM研究部会長）

和泉大樹（阪南大学 JMMA CM研究部会 幹事）

プログラム

12:45～	受付開始
13:00～13:20	挨拶・企画趣旨説明 井上敏
13:20～14:00	「学芸員制度の方向性」 浜田弘明
14:00～14:40	「学芸員のキャリア・トランジションについて」 渡邊麻里
14:40～15:20	「学芸員の20年を振り返る（仮題）」 浜田弘明
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	討論

※プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください

参加申込：JMMA事務局までメールまたはHP参加申込フォームからお申し込み下さい。

【フォームでの申込】研究会名「3/9 近畿支部会」を選択してお申し込みください。

【メールでの申込】件名は「3/9 近畿支部会参加申込」として、下記項目を明記のうえ、お申し込みください。

①参加者名 ②所属 ③連絡先（電話・メールアドレス）④参加方法（会場orオンライン）